

<資料> アンケートデータの集計・分析結果（入居者の基本情報）

◆整備した居住物件と入居者数（アンケートデータの対象者）

支援のために整備した住宅	確保手段	物件数	入居想定者	12月末現在の入居状況	アンケート対象者数	物件を卒業した人数
戸建て住宅	購入	1棟	1家族（子連れ世帯想定）	入居なし	0人	0人
アパート居室	賃貸	6室	6人（単身想定）	6人（全員単身）	5人（10月末の入居者）	0人

（参考）アウトカム②
女性専用の居住物件
の数：7件

（参考）アウトカム⑥
自立して物件を卒業した
当事者の人数：0人

【基本情報の解説】

若年困窮女性の支援を行うための住宅として、本助成金を活用して戸建て住宅とアパートタイプの2種類の物件を確保した。いずれも入居者の生活環境を整備するための改修を行っている。戸建て住宅は子持ち世帯の入居を想定していたが、12月末現在で入居には至っていない。アパートタイプは単身者の入居を想定し、12月末現在は6室が満室となっているが、今回のアンケートの対象者は、10月末時点の入居者である5人となっている。また、これまでの入居者のうち物件を卒業して自立に至った当事者はいない。

<資料> アンケートデータの集計・分析結果（アウトカム③）

- **アウトカム**：困窮若年女性を支援できる相談スキルをもったスタッフがいる状態
- **指標**：相談スキルをもったスタッフの数
- **目標値**：3人
- **アンケート対象職員**：4人（本事業で主として女性支援の活動に従事した現職員）

【問】 研修を受ける前後、または実際に女性支援の活動を行う前後で比較して、女性支援の知識や相談スキルなどが向上したと思うか？

アンケート結果	スタッフA	スタッフB	スタッフC	スタッフD	該当者数
1.とても向上した				○	1人
2.やや向上した	○	○	○		3人
3.あまり向上しない					なし
4.変わらない/分からない					なし

⇒「スキルが向上した」と評価できる1と2を選んだスタッフは、4人全員となった。

<資料> アンケートデータの集計・分析結果（アウトカム③）

【アンケートに記載されたスキルアップを実感した事例】

- 現場で実際に支援している女性は、研修で学んだ特徴には必ずしも当てはまらない場合が多い。しかし、若年層に接する時の注意点や心掛けている事については、若年女性に限らず現場で役立つものが多かった。研修を受けたことが自信となり、初対面の際に気負うことなく対応する事が出来たと感じる。
- 研修を受ける前は、若年女性特有のコミュニケーションの難しさや、妊娠葛藤を抱える方の心理について深く理解できていませんでした。研修を通して「普通という考え方をなくすこと」や「安心できる関係性」の重要性を学び、支援の基本的な心構えが大きく変わったと感じました。
- 相談者が感情的な言動を示したとしても、その背景には不安や孤立があることを理解できるようになりました。
- 今回の研修は実践に必要な基礎知識を理解する上でとても役に立ち、今後女性支援に携わる際に大きな自信に繋がったと感じています。

【アウトカム③の分析結果】

アンケート対象となった4人のスタッフのうち、4人全員が相談スキルが向上したと判断した。スタッフ本人の実感だけではなく、アウトカム④⑤を測定するための入居者アンケートにおいても、スタッフの支援への満足度は高く、スタッフが相談スキルをいかして充実した支援を行った結果であると見受けられた。
なお、評価対象となったスタッフ4人全員が女性である。

<資料> アンケートデータの集計・分析結果（アウトカム④）

- **アウトカム**：困窮若年女性の周りに世間話や一緒に何かする相手がいる状態
- **指標**：当事者にとって繋がりや関わり合いのある人の数
- **目標値**：当事者1人につき1人でも増加している状態
- **アンケート対象者**：5人（支援対象である女性入居者）

【問】入居後、気軽に話せる人や相談者、困った時に助けてくれる人は増えましたか（支援員含む）

アンケート結果	入居者A	入居者B	入居者C	入居者D	入居者E	該当者数
1.たくさん増えた						なし
2.まあまあ増えた	○	○		○	○	4人
3.入居前とかわらない			○			1人
4.わからない						なし
※何人増えたか	1人	1人	0人	1人	1人	

⇒「増えた」と評価できる1と2を選んだ方は、5人中4人となった。

<資料> アンケートデータの集計・分析結果（アウトカム④）

▶同じ質問を入居者の支援を担当しているスタッフにも聞きました。

【問】 入居者ひとりひとりについて、入居前に比べて、入居後に気軽に話せる相手や相談者、知り合い、一緒に何かする人などが増えたと思いますか（スタッフ側から見た評価）

アンケート結果	入居者A	入居者B	入居者C	入居者D	入居者E	該当者数
1.たくさん増えた						なし
2.まあまあ増えた	○	○	○	○	○	5人
3.入居前とかわらない						なし
4.わからない						なし
※何人増えたか	1人	1人	1人	1人	1人	

【アウトカム④の分析結果】

入居者5人のうち、4人が増えたと実感しており、1人（Cさん）が変わらないと感じている。しかし、日常的にCさんの支援に携わっているスタッフから見ると、入居後に明らかな変化を感じており、総合的に判断した結果、入居者5人全員において「気軽に話せる人や相談者、困った時に助けてくれる人」が1人以上増えたと分析した。

<資料> アンケートデータの集計・分析結果（アウトカム⑤）

- **アウトカム**：困窮若年女性が生活スキルを身につけ、家計のやりくりができる状態
または仕事の資格やマナー（挨拶・身だしなみ）が身に付いている状態
- **指標**：当事者が取得した資格等の数、または身につけた生活スキル等
- **目標値**：当事者1人につき1つでも増加している状態
- **アンケート対象者**：5人（支援対象である女性入居者）

【問】 入居前と比べて、生活スキルやマナーなどが向上したと思いますか？（当てはまるものに○）

アンケート結果	入居者A	入居者B	入居者C	入居者D	入居者E
お金の管理		○			○
買い物	○	○		○	○
料理	○	○		○	○
部屋の掃除		○		○	○
ゴミ出し	○		○	○	○
洗濯	○			○	○
あいさつ	○			○	○
身だしなみ		○		○	○
コミュニケーション	○	○			○
向上した生活スキル等の数	6つ	6つ	1つ	7つ	9つ

⇒5人全員が1つ以上の向上が見られ、1人あたりの向上スキルの数の平均は5.8個となった。

<資料> アンケートデータの集計・分析結果（アウトカム⑤）

【スタッフ側から見た入居者の生活スキルの変化】

- （入居者A）家計簿をつけ、将来の支払いのためにどの程度お金を残しておくか考えるようになった。
- （入居者B）習慣的に料理や家計簿をつけるようになった。役所の手続きも自分でできるようになった。
- （入居者C）定期的にゴミを捨てるようになった
- （入居者D）自分の意思を伝えることに消極的だったが、自分の希望や考えを話す機会が増えた。
- （入居者E）家計簿を継続してつけられるようになった。困難を抱えた時に自ら相談できるようになった。

【アウトカム⑤の分析結果】

入居者5人全員が何かしらの生活スキル等の向上を実感しており、1人あたりの向上スキルの数の平均は5.8個となった。

本人の自覚だけでなく、日常的に支援に携わっているスタッフから見ても、入居者全員に良い変化を認識しており、総合的に評価した結果、入居者5人全員において生活スキル等が向上したと分析した。

<資料> アンケートデータの集計・分析結果（中長期アウトカム）

- **長期アウトカム**：地域で困窮する若年女性が、自立して自分らしく意欲をもって生きられる状態
- **中期アウトカム**：
 - ①困窮若年女性の周りに相談できる人や信頼できる人がいる状態。
 - ②困窮若年女性が、事業物件を卒業して、仕事があり、安心して暮らす場所がある状態。
 - ③困窮若年女性が、夢や余裕をもって楽しく生活している状態。

✓ 中長期アウトカムは事後評価の対象ではないものの、今回の取組みが中長期アウトカムの達成に向けて、その活動の方向性があるか、一部の変化を生み出しているか、評価の参考とするためのアンケートを行いました。

【問】 今回ワンファミリー仙台の支援を受けてお部屋に入居して良かったですか？（支援の総合的な評価）

アンケート結果	入居者A	入居者B	入居者C	入居者D	入居者E	該当者数
1.とても良かった	○	○	○	○	○	5人
2.まあまあ良かった						なし
3.あまり良くなかった						なし
4.全く良くなかった						なし
5.分からない						なし

⇒入居者5人全員が実行団体の支援に対して最大の評価をしている。

<資料> アンケートデータの集計・分析結果（中長期アウトカム）

- ✓ 中長期アウトカムは事後評価の対象ではないものの、今回の取組みが中長期アウトカムの達成に向けて、その活動の方向性があるか、一部の変化を生み出しているか、評価の参考とするためのアンケートを行いました。

【問】 入居前に比べて、ご自身の生活環境や心境・モチベーションなどにどのような変化がありましたか？

- （入居者A） まだ特に変化は感じていない。
- （入居者B） 食欲が戻ってきた、眠れるようになった、泣くことがなくなった。
- （入居者C） 将来に対して少し前向きになれた。
- （入居者D） 自分のことを少しずつできるようになった。
- （入居者E） いろいろやり直そうと思えた。

【中長期アウトカムの分析結果】

入居者から見た実行団体の活動への総合評価は、5人全員が満点の結果となった。

実行団体の活動により入居者の心境やモチベーションなどにも変化を与えていることが分かり、特に精神的な面で前向きに改善している傾向が多く見受けられた。

この変化は、長期アウトカムの「自分らしく意欲をもって生きられる状態」という部分に寄与しており、実行団体の今回の活動が中長期アウトカムの達成に向けて方向性が合致しており、助成終了後も継続的な活動を行うことで社会課題の解決に資するものと評価した。